

## 国際理解教育/開発教育 学習指導（活動）案

## 【実践者】

授業者氏名	橋本 彩	学校名	私立 立命館中学校
教科（科目）・領域	特別活動（学校行事）	対象学年（人数）	2年 8組（ 36名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2022年9月末～11月中旬 （授業時間9時間＋特別活動日3回）		

## 【実施概要】

1. 単元名(活動名)： Rits Food Drive 2022					
2. 実践する教科・領域：特別活動	3. 学習領域				
		1	2	3	4
	A 多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
	B グローバル社会	相互依存	情報化		
	C 地球的課題	人権	環境	平和	開発
D 未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加		
4. 単元の目標（評価規準を意識して設定）：					
1）自分たちの消費行動や思考が社会に与える影響を知り、フードロスを身近な問題として捉える。					
2）問題解決に向けてすでに行われている取り組みに関わり、教室内での学びにとどまらず行動に移すことの大切さを考える。					
3）クラスの一員、社会の一員として、力を合わせて共通の目標を達成する喜びを感じる。					
5. 単元の 評価規準	①知識及び技能	フードロスに関わる地域や社会の問題を知り、また、その解決に向けてすでに行われている取り組みの意義を理解している。			
	②思考力、判断力、表現力等	自分たちの学びを地域の人たちに正しく伝え、フードドライブへの協力を呼びかけることができる。また、伝え方の工夫を意識している。			
	③学びに向かう力	人とのふれあいに楽しみを見出し、仲間と協力してフードドライブを円滑に運営しようとする姿が見られる。			
6. 単元設定の理由・単元の意義  (児童/生徒観、教材観、指導観)	【単元設定の理由あるいは単元の意義】				
	<p>本校中学生は早くから地元を離れ、自らが居住する地域に対する帰属意識や貢献感が低いまま、中・高・大と一貫教育の限られた交友関係の中で長く生活することになる。幼児期～青年期に異年齢の人付き合いがあることや年長者とコミュニケーションをとることが、社会人になってからの自己肯定感の高まりや職務を遂行する上での自信につながるという指摘もある中で、子どもたちはますます地域との関わりを失ってきている。この単元を通じて、フードドライブのブースを設置する地域の人々の生活を間近に見ながら、また、ブースで多様な人に接しながら臨機応変にコミュニケーションを進めることの重要性に気付かせたい。また、事前・事後の学習を通じ、フードロスに関連して地域が抱える課題やその解決策について対話的に学ばせる機会としたい。</p> <p>【児童／生徒観】</p> <p>本校の中学生は附属の高校へ内部進学する生徒がほとんどで、高校入試に縛られるこ</p>				

となく、様々な学校行事や課外活動にも積極的に取り組み、時間的にゆとりのある3年間を過ごすことができる。その反面、学習や進路に期日目標を持ちにくいという課題もある。しかし、現中学2年生は、学年全体で「学校の授業を大切に」「一生懸命勉強する」ことの価値が自然と共有されており、学校や教師から提供される学びについては素直に受け取ることができる。また、生徒会役員選挙に定員の2倍の人数が立候補するなど、「誰かのために何かをしたい、人の役に立ちたい」という生徒が多い。さらには、高校のグローバルコースの取り組みに触発されて海外志向を持っている生徒も多く、教員がうまく動機付けと方向づけをすれば、生徒の「やりたい」という気持ちに火をつけることができ、地域貢献や国際理解を効果的に実践できるのではないかと期待し、本単元を設定した。

### 【教材観】

現中学2年生は、中学1年次より英語の授業を中心にSDGsのいくつかの項目について学んで来た。フードロス問題やその解決策としてのフードバンクやフードドライブについてもどのようなものであるかという知識は既習である。今回は「フードバンク、フードドライブの活動を地域に広めること」「実際にフードドライブを開催すること」という2つのミッションを目標に据え、それに向けて事前学習を進めてゆく。より多くの人に活動を伝えるため、より多くの人に活動への協力を仰ぐため、フードロス問題や解決策についてより深く学び自らの知識を豊富に蓄えることは必須である。どの時限においても最終の活動を意識し、フードドライブに思い入れと責任感を持って取り組めるように準備をさせたい。

### 【指導観】

社会問題や環境問題というと、問題点や提唱されている解決策を学んでも「...、とはいえず中学生にはまだ早い」「大人になったら頑張ろう」など、遠い将来のここのように捉えがちである。そこで、フードロスに自分たちの購買行動が関わっているかもしれないこと、解決策に自分たちも関われるかもしれないことを知り、問題を身近に引き寄せさせ、フードドライブに取り組む意義や責任を感じながら活動を行わせたい。また、この学校行事の前身である職業体験と同じく、仲間や地域の人との協力やつながりを通じて自分自身の良さや未熟さを振り返りながら、学校での学びがどのようなことに活かせるか、将来的にどのような分野に関わりたいか、そのために今後どんなことを身に着けるべきかについて考えさせたい。

## 7. 単元計画 (全12時間)

時	ねらい	学習活動	資料など
1	家庭から生まれるフードロスと日本全体や地球全体で問題になっているフードロスの現状を知り、自分の食品購買行動を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Rits Food Drive 2022 の概要を知る。               <ul style="list-style-type: none"> <li>－まとめ活動班の作成</li> <li>－まとめ発表会用スライド作成の説明</li> <li>－Rits Food Drive の目標の共有</li> <li>－Rits Food Drive 委員会メンバー募集</li> </ul> </li> <li>・ 日本のフードロス問題を知る。               <ul style="list-style-type: none"> <li>－フードロス量を知る</li> <li>－環境への影響を知る</li> <li>－削減に向けた社会の動きを知る</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロイロノート</li> <li>・ まとめスライド作成- PPT</li> <li>・ SDGs 動画シリーズ//ゴール 2// 飢餓をゼロに</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">Rits Food Drive 2022 委員会発足</div>

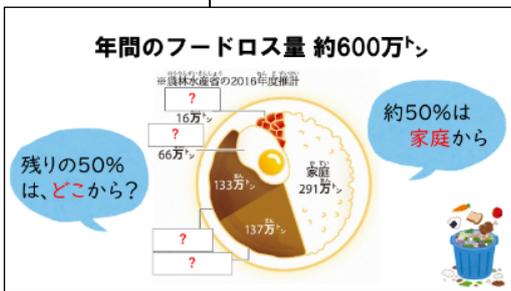
		<ul style="list-style-type: none"> <li>食品を購入する際に重視する項目を考え、タブレットでダイヤモンドランキングを作成し、クラスで意見をシェアする。宿題として、保護者の意見を追加する。</li> </ul>	各クラス2名選出
2	家庭から生まれるフードロスを解消する1つの取り組みとしてフードバンクの活動について知る。4次で作成するリーフレットの内容を充実させるために、講演会に向けて、自分が知りたいことや聞きたいことを質問用紙にまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダイヤモンドランキングに保護者目線の項目を追加したものをペアでシェアする。</li> <li>フードロス削減につながるポイントと、フードロスにつながるポイントを仕分け、その結果を小グループで発表し合う。</li> <li>家庭系フードロスの解決策を考える。 (①家庭(個人)で取りむべきこと ②社会(チーム)で取り組むべきこと)</li> <li>②の例としてフードバンクの活動(概要)を知り、3次の講演会に向けて質問用紙を作成する。その際、問いを作る7つのキーコンセプトを使用する。 「形」「機能」「原因」「変化」「つながり」「視点」「責任」</li> </ul>	・ロイロノート
3	フードバンク長岡京 講演会「フードバンク長岡京の活動について」	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演を聞きながら、2次で作成した質問用紙に答えを記入する。</li> <li>講演の中で解答が得られなかった質問や疑問については質疑応答の際に直接講演者に質問をする。</li> </ul>	・ゲストスピーカー <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">           RFD 委員会 (授業内)            ・講演会司会とお礼のことば            ・PR ビデオ作成            → 卒業生総会で放映         </div>
4	1、2次で学んだフードロス問題や3次で聞き取ったフードバンクの活動を他者に分かりやすく伝える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>3人1組で、3つ折りリーフレットを作成する(1人1パートを担当する)。 1) フードロス問題について 2) フードバンクの活動について 3) Rits Food Drive 2022 への協力をお願い</li> <li>教員は提出された原稿を授業時間外で校正する。</li> </ul>	・Microsoft Word <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">           RFD 委員会            地域内の企業へDM 発送         </div>
5	<p>本時</p> <p>フードロスを発生させないために変えるべき社会のしくみや自分たちの意識に考えを至らせる。</p> <p>(流通の過程で発生するフードロスの存在を知り、食品が自分たちの手元に届くまでに起こっている問題や課題について考える。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2人1組で「減らせ! 流通フードロス」ゲームに取り組む。</li> <li>ゲーム実施後、感想交流を行うとともに、食品流通のどの段階でどのようにフードロスが発生しているかの気づきをシェアする。</li> <li>日本の厳しい食品流通基準(賞味期限、3分の1ルール、訳あり商品、陳列の見た目)や地産地消の重要性をフードロス解決の観点から考える。</li> <li>課題解決のために、自分たちの食品(商品)に対する既成概念を改めなければならない可能性を検討する。</li> </ul>	・「減らせ! 流通フードロス」ゲームキット <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">           RFD 委員会            ブースレイアウト原案作成         </div>
6	社会活動が様々な役割分担の協力によって成り立っていることを知り、前向きに自らの資質能	<ul style="list-style-type: none"> <li>各クラスの Rits Food Drive 2022 生徒委員による司会進行で係決めを行う。</li> </ul>	・環境省「フードライブ実施の手引き」

	力を役立たせる持ち場について考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各係の仕事内容の説明を聞き（動画を視聴し）、自分が責任を持ってやりきりたい係に立候補する。</li> <li>Rits Food Drive 2022 当日のブース開設（飾り付けなど）について委員から原案の提示を行い、7次の作業段取りを確認する。</li> </ul>	RFD 委員会（授業内） 係決めの運営 レイアウト提案
7	フードドライブブース設置エリアでのリーフレットポスティング活動（校外）と、ブース準備（校内）を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>クラスの半数と引率教員はブース設置エリアで4次作成のリーフレットのポスティングを行う。</li> <li>クラスの残り半数と付き添い教員は校内でブースのデコレーションなどを作成する。</li> </ul>		
8	自分が担当する仕事や当日の動きに想像を働かせ、ブースのスムーズな運営に携わろうとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各係ごとの教室に分かれ、当日の仕事についてレクチャーを受ける。</li> <li>当日に予想されるトラブルや疑問について小グループで意見をシェアする。</li> <li>シェアされた意見について係全体で解決策などを考える。</li> <li>係の行動目標を決める。</li> </ul>	
9	クラスの仲間が当日どんな仕事をするのかを理解し、分業と協力の大切さに気付く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各係の代表者から、当日の仕事内容やクラスメイトにも知っておいてもらいたい注意事項を報告し共有する。</li> <li>当日に向けて集合、解散、持ち物などの最終確認を行う。</li> </ul>	RFD 委員会（授業内） <ul style="list-style-type: none"> <li>注意事項の共有</li> <li>最終確認</li> </ul>
10	Rits Food Drive 2022 実施（校外） <ul style="list-style-type: none"> <li>主な通学圏内の8か所に分かれ、フードドライブのブース（食品寄付受付）を開設する。</li> <li>1クラス1ブースを担当 ・クラスの半数が午前、残り半数が午後のシフトを運営する。</li> </ul>		
11	長岡京市福祉協議会 講演会 「ボランティアの芽を育てよう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>Rits Food Drive 2022 を振り返るとともに、社会の中に存在する様々な問題や困りごとに市民活動（ボランティア）が貢献していることを知る。</li> <li>市民活動（ボランティア）を通じて人とのつながりを持ち、いきいきと暮らしている人の存在を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゲストスピーカー</li> </ul> RFD 委員会（授業内） 講演会司会とお礼のことば
12	各クラス（グループ）の取り組みの成果を発表し合い、フードドライブ活動のまとめを行う。	1 限目 班ごとのまとめ作業を行う。（PPT スライド作成） 2 限目 クラス内発表会 → 優秀プレゼンテーション選出（各クラス1班） 3 限目 まとめ発表会（代表各クラス1班×8クラス） 4 限目 個人ふりかえり（総括用紙の記入）を行う。	RFD 委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>発表会の司会（3限）</li> <li>食品仕分け → 梱包 → 発送</li> <li>企業へお礼状</li> </ul>

## 8. 本時の展開（概略）

本時のねらい：消費者の手元に商品が届くまでに発生しているフードロスの存在とその原因を知る。また、将来的にフードロスを発生させない社会を作るために、変化するべき流通のしくみや消費者の行動・意識について考える。

過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動 T: 教師 Ss: 予想される生徒の反応	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
導入	1. 家庭から生まれるフードロス (50%) 以外		授業進行 <b>資料 1</b>

<p>(5分)</p>	<p>がどのように発生しているのかを、ゲームを通じて考える。</p> <p><b>T</b>「家庭から生まれるフードロス全体の50%です。では、残りの50%はどこから生まれるのでしょうか？」</p> <p><b>Ss</b> ・食品工場 ・スーパー ・コンビニ ・農家</p> <p><b>T</b>「最終的に余ってしまうのならば、工場やスーパーは製造数や販売数を減らしてはいけませんか？」</p> <p><b>Ss</b> ・お店に商品が少ないとお客さんが来ない</p>	<p>生徒の自由な発言を促す</p>	<p>フードロスの内訳円グラフ (毎日小学生新聞 2019年12月18日)</p> 
<p><b>展開</b> (30分)</p>	<p>2. 「減らせ！流通フードロス」ゲームを実施する。</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標：需要と供給を一致させフードロスを防ぐ</li> <li>・2人1組で「卸売」と「小売」に分かれ、協力して進める</li> <li>・1ターンを1週とし、売れずに賞味期限を迎えた商品はロスとなる(減点)</li> <li>・賞味期限まで3週間を切って卸売に残っている商品はロスとなる(3分の1ルール、減点)</li> <li>・その他、流通の途中でのアクシデントや消費者の行動によってロスが増えるイベントが起こる(減点)</li> </ul> <p>※生徒に配布するゲームボードは指導案末尾に添付</p>	<p>先々の展開を詳細に説明しすぎず、ゲームの成り行きから気づきを得られるように留意する</p> <p>1ターン目は説明をしながら生徒と一緒に手順を1つずつ進める。</p>	<p>「減らせ！流通フードロス」ゲームキット ゲームボードはロイロノートで配布</p> <p>ゲーム出典： <a href="https://ameblo.jp/damedame-foodloss0628/entry-12754234024.html">https://ameblo.jp/damedame-foodloss0628/entry-12754234024.html</a> を短縮版に改編し、説明含め約10分で実施する</p> <p>ゲーム進行 <b>資料2</b></p> <p>&lt;↓ ゲームの進め方&gt;</p>
<p>① 「卸売」は合計5、「小売」は合計7の商品在庫数(数字)を手元のボックスに分配して書く。</p> <p>② 小売は消費者からの需要数を「売上(加点)」に入れる(需要数はランダムに決定)。</p> <p>③ 小売は卸売に発注をかけ、商品棚に商品を補充する。</p> <p>④ 卸売は小売に納品した商品数を「小売へ納品」に入れる。</p> <p>⑤ 小売の発注数が卸売の在庫を超えていた場合は、不足数を「欠品ペナルティ(減点)」に入れる。</p> <p>⑥ 小売は卸売に指示された棚の番号にそれぞれ商品数を補充する。</p> <p>⑦ 卸売は次のターンに備えて、在庫棚に任意の商品数を補充する。</p> <p>※ 各ターンを終えるごとに納品期限、賞味期限を迎えた商品はロス(減点)となる。</p> <p>※ 2ターン目以降の偶数ターンでは、スムーズな流通を妨げるアクシデントが起こる。</p> <p>※ 全9ターンを終えたあと、売上(加点)からロス(減点)とペナルティ(減点)を引いた差をペアの得点とする。</p>			

<p>② ゲームの展開</p> <p>1ターン(1週間) ①需要数の決定</p> <p>需要数 2</p>	<p>③</p> <p>1ターン(1週間) ②発注(小売→卸売)</p> <p>「4」 発注します。</p>	<p>⑥</p> <p>1ターン(1週間) ③納品</p> <p>2の棚に「2」 3の棚に「2」 です。</p>	<p>⑦</p> <p>1ターン(1週間) ④在庫補充</p> <p>心の声 「10」 在庫補充しよう〜</p>											
<p>3. ゲームの感想交流を行う。</p> <p><b>T</b>「卸売、小売、それぞれの役割で難しかった点(フードロスにつながってしまった点)はどんなところですか？」</p> <p><b>Ss</b> ・発注数(消費者の購入数)の予測がつかない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕入れすぎると余ってしまう</li> <li>・商品が足りないとペナルティになる</li> <li>・3分の1ルール ・途中でアクシデントが起こる</li> </ul> <p><b>T</b>「消費者の行動で問題を感じた点(フードロスにつながってしまった点)や卸売、小売として困ったことはどんなところですか？」</p> <p><b>Ss</b> ・奥取りが原因で賞味期限が残り少ない商品がロスになった</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブームに乗って急にたくさん買ったり急に買わなくなったりした</li> <li>・品物をたくさん揃えていても買ってくれない週がある</li> <li>・品揃えが悪いお店に対して悪い印象を持つ</li> </ul> <p><b>T</b>「今挙げた消費者の行動の中で、『自分もついやってしまっているなあ...。』というものはありますか？」</p> <p><b>Ss</b> ・SNSでバズっている商品を買う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レアな商品が売っていたら、たくさん買う(買い占める)</li> <li>・流行が終わったら全く買わなくなる</li> </ul> <p>4. メーカーから卸売まで(ゲームのボード枠外)にもフードロスが生まれていることを知る。</p> <p><b>T</b>「(今回のゲームには出て来ませんでした)が、ゲームボードの枠外でもフードロスは生</p>	<p>ワークシート <b>資料3</b></p> <p>生徒からの発言で得られなかった観点は教師から提示する</p> <p>ゲーム感想まとめ資料(PPTスライド) or 板書</p> <div data-bbox="938 806 1452 1093"> <p><b>「減らせ！流通フードロス」</b> 減点の原因</p> <table border="1"> <tr> <td><b>卸売の目録</b></td> <td><b>小売の目録</b></td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3分の1ルール(賞味期限内でもロスになる)</li> <li>・商品(梱包)の損傷</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奥取り</li> <li>・需要予測が難しい</li> <li>・商品の流行爆発</li> <li>・商品リニューアル</li> </ul> </td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="938 1108 1452 1395"> <p><b>「減らせ！流通フードロス」</b> 減点の原因になった消費者の行動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奥取り</li> <li>・商品の流行爆発(SNSの影響)</li> <li>・全く商品を買わない(需要0)(需要8との差が激)</li> </ul> <p>思い当たる行動はあるかな？</p> </div>	<b>卸売の目録</b>	<b>小売の目録</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3分の1ルール(賞味期限内でもロスになる)</li> <li>・商品(梱包)の損傷</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奥取り</li> <li>・需要予測が難しい</li> <li>・商品の流行爆発</li> <li>・商品リニューアル</li> </ul>	<div data-bbox="938 1780 1452 2072"> <p><b>「減らせ！流通フードロス」</b> ゲームボード</p> <table border="1"> <tr> <td><b>メーカーでのフードロス</b></td> <td><b>食品メーカー</b></td> <td><b>卸売業</b></td> <td><b>小売業</b></td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形が悪い</li> <li>・傷あり</li> <li>・コゲ</li> <li>・大きすぎる</li> <li>・小さすぎる</li> </ul> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </div>	<b>メーカーでのフードロス</b>	<b>食品メーカー</b>	<b>卸売業</b>	<b>小売業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形が悪い</li> <li>・傷あり</li> <li>・コゲ</li> <li>・大きすぎる</li> <li>・小さすぎる</li> </ul>			
<b>卸売の目録</b>	<b>小売の目録</b>													
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3分の1ルール(賞味期限内でもロスになる)</li> <li>・商品(梱包)の損傷</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奥取り</li> <li>・需要予測が難しい</li> <li>・商品の流行爆発</li> <li>・商品リニューアル</li> </ul>													
<b>メーカーでのフードロス</b>	<b>食品メーカー</b>	<b>卸売業</b>	<b>小売業</b>											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・形が悪い</li> <li>・傷あり</li> <li>・コゲ</li> <li>・大きすぎる</li> <li>・小さすぎる</li> </ul>														

まとめ  
(15分)

<p>まれています。どこで、どんなロスが生まれているか、気づきましたか？」</p>		
<p>Ss ・卸売りに届かない商品 ・畑から出荷できない野菜</p>		
<p>T 「例えば？どんな理由で出荷できないのですか？」</p>	<p>生徒の反応を拾いながら進める</p>	
<p>Ss ・傷がついている商品 ・B級品 ・形が歪んでいる</p>		
<p>T 「では、どの程度の傷（形のゆがみ...）が「（卸売に）出荷」できないレベルなのか、見て見ましょう。」</p>		
<p>－ 規格外野菜、訳あり商品、箱つぶれ商品などの写真を見せる － パッと見には分からないような傷や加工のむら（焼きむら）まで含まれていることを伝える</p>	<p>安全性に問題がない限り、規格外商品を安く販売する取り組みも広がっているが、すべての商品を売りつくすことは難しい（ロス）</p>	<p>規格外野菜、訳あり商品、箱潰れ商品の写真（PPT スライド）</p>
<p>T 「日本の商品販売の基準はとても厳しいことが分かります。」「また、その基準に慣れている消費者の商品（食品）の外見に対する期待もとても高くなっています。」</p>		
<p>5. 将来的にフードロスを生み出さない社会にするために、社会のしくみや私たちの意識を変えてゆく必要性について考える。</p>		
<p>T 「今回、すでに生み出されてしまったフードロス（放っておくとフードロスになりかねない食品）を救うために、私たちはフードドライブを実施します。では、そもそも、将来的にフードロスを生み出さない（劇的に減らす）ために、変えていかなければならない社会のしくみ（食品に関するルール）や私たちの意識、考え方は、どのようなものがあるでしょうか？」</p>		
<p>Ss 自分の意見をワークシートに記入する → ペア（小グループ）で共有する（人の意見を自分のワークシートに書き足してもよい） → クラス全体で共有する</p>	<p><b>現在</b> すぐに行動に移せるもの＝フードドライブ（フードバンク）</p>	<p>ワークシート <b>資料3</b></p>
<p>T 「フードロスを生み出さないために変えたほうがよい社会のしくみについて、どんな意見がありましたか？」</p>	<p><b>将来</b> フードロスを生み出さないために長期的に取り組むこと＝？</p>	

	<p>Ss ・ 3分の1ルールを緩める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・賞味期限を延長する</li> <li>・前の週に注文した商品を受け取る方式（個配）</li> </ul> <p>T「フードロスを生み出さないために、私たち（消費者）の意識や考え方がどんな風に変わればよいか、出された意見を教えてください。」</p> <p>Ss ・賞味期限に縛られず、食品の見た目やにおいで食べられるかどうかを判断する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流行りに乗りすぎない、</li> <li>・新商品にこだわりすぎない</li> <li>・手前の商品から取る</li> <li>・多少傷があっても食べられる（見た目に求めるレベルを下げる）</li> </ul> <p>T「実際に3分の1ルールを見直そうとする議論が食品流通業界で起こるなど、フードロスに対する人々の意識が変わり、改善に向けて社会が変わろうとしています。」</p> <p>「今ある問題にすぐ対処できること（フードバンク・フードドライブ）と、将来を見据えて長期的に取り組むことの両方が必要です。」</p> <p>6. ポートフォリオ（第1次からの連続感想用紙）に今回の感想を記入する。</p>		意見まとめ資料（PPTスライド） or 板書
<p>9. 評価規準に基づく本時の評価（評価方法）</p> <p>ゲーム（流通のシュミレーション）を通じて、食品流通の様々な段階で発生しているフードロスの存在とその原因について考察できているか。また、将来的な問題の解決に向けて、前向きに意見を出し合おうとしているか。【ペアワーク・グループワークへの参加（見取り）、ポートフォリオへの記入（成果物）】</p>			

※生徒配布用「減らせ!流通フードロス」ゲームボード

**卸売ボード**

期限  
賞味期限(週)  
長 → 賞味期限(週) → 短

在庫棚  
ここから納品する際は小売の【3の棚】へ  
ここから納品する際は小売の【2の棚】へ

**フードロス**  
賞味期限が残り3週間を切った商品はフードロスとなり減点となります【3分の1ルール】

**欠品ペナルティ**  
小売から発注を受けた商品数を納品できない場合は、不足数が減点となります。

**小売へ納品**

小売ボードへ

需要予測：消費者が購入する商品の数です。それぞれの数字は1回ずつしか出ません。すでに出た数字に×を付けて、次のターンの需要を予測しましょう。

1	2	3	4	5	6	7	8	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---

**Super Market 小売ボード**

期限  
賞味期限(週)  
長 → 賞味期限(週) → 短

商品棚  
卸売ボードから

**フードロス**

**売上**

需要予測：消費者が購入する商品の数です。それぞれの数字は1回ずつしか出ません。すでに出た数字に×を付けて、次のターンの需要を予測しましょう。

1	2	3	4	5	6	7	8	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---

10. 学習方法および外部との連携

学習方法

- ・10次のフードドライブ実施(活動)を最終目標として、すべてそこに集結するように座学(作業含む)での事前学習を行う。
- ・単元の最終回にまとめ発表会を設定し、事前学習、準備、当日の運営など、各クラスの取り組みを学年

全体で報告し合う。まとめ発表会の概要は初回導入時に説明し、事前学習の進捗と合わせて発表の準備を進めてゆく。

- ・ Rits Food Drive 委員会（生徒組織）を発足し、昼休みを中心として活動を行う。委員の仕事は、学年全体が集まる場での司会進行やクラス活動（作業）の運営など。また、地域の企業や本校同窓会への PR 活動も担当する。活動の内容と予定は「資料など」の枠内に記載。

#### 外部連携

- ・ ゲストスピーカー  
 フードバンク長岡京 – フードロスの現状やフードバンクの活動について（話題提供、問題提起）  
 長岡京福祉協議会 – 身の回りのボランティア活動の可能性について（まとめ、今後に向けて）
- ・ 活動場所（貸会場）とのマッチング  
 JICA 京都デスク、長岡京市役所、本校卒業生、付属校（立命館大学、立命館小学校）

#### 11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み

- ・ 「海外」「英語（語学）」というキーワードにとらわれず、実際に、社会全員で取り組むべき課題を上げる。
- ・ 通常の学習活動や学校行事をベースに、教員が多数関わる取り組みと国際理解を抱き合わせて企画する。
- ・ 中学での取り組みが高校での取り組みに上手く接続するように、6年間計画に見通しを教員間で共有したい。

#### 【自己評価】

##### 12. 苦労した点

「減らせ！流通フードロス」ゲームは、1次、2次で学んだ「今、私たちが何か行動を起こせること」から視点を変え、「(今は難しくとも) 将来、出来るかもしれないこと」を考えるための材料とした。元々インターネット上で公開されていたシミュレーションゲームを、授業時間の中におさめ、かつ感想交流の時間を十分にとるために短縮版として作りかえた。指導案作成の段階で、同じ内容の動画を見せるかどうかを迷ったが、1次で動画を使用したので、できれば違う学び方を…と思い、ゲームでの実施を決めた。

教員同士でテストプレイをして、「これなら最長 15 分以内で…」というところまで内容を絞って実践したが、教員がやってみるのと生徒の理解スピードが異なり、予定以上にゲームに時間を割くことになってしまった。また、時間を何とか短縮しようと説明を急いだために、ゲーム進行そのものの理解が進まなかった生徒もいた。ゲームから概念へと転移させることが目的であったが、教員の時間の見通しの甘さでそこが叶わなかった生徒がいたのは大変残念に思う。

その結果、感想交流が十分に行えず、本来であれば「個人で考え」「小グループで意見交換し」「クラス全体で共有する」というサイクルを、すべての発問に適用する計画であったが、「小グループで意見交換し」「教員がランダムに指名し意見を聞き取る」ということに終始してしまった。それでも、ゲーム進行に追いついていた生徒を中心に、流通をとりまく制度の問題や、将来的には社会がこうなって欲しい…という建設的な意見を発信してくれたおかげで、全体で本時の問いに対する答えを何とか共有できたことは良かった。

13. 改善点	<p>研究授業で行った「減らせ！流通フードロス」ゲームでは、手短かに説明して短時間で実施を...という計画であったが、ゲームの説明（と理解）に思った以上に時間がかかり、肝心の「考える（意見交流）」部分を大急ぎで終えることになった。ゲームそのものに対しては「楽しかった」とコメントする生徒もいたので、ゲームはゲームとして1時間じっくり時間をとり、その振り返りとして「考える」時間もまた十分に設けるべきであった。この時間のみが、現状から「将来」を考える機会であったため、できれば、ゲームと振り返りを2時間続きで実施できることが望ましいと思った。</p> <p>すでに、行事日を含めて全12回の大がかりな取り組みとなっているが、パンフレットを作成する時間にもっと余裕を持たせるべきであった。パンフレット作成は、フードロスやフードバンク活動を自分たち以外に広めるという目的で、それまでに学んだことをアウトプットする機会として設定した。今回は個人で作成して提出して校正を受けて...という生徒1人ずつと教員のやりとりにとどまったが、パンフレットに盛り込む内容やレイアウト、誤字脱字のチェックを生徒同士が相互に校正し合う時間があれば、完成品のブラッシュアップにもなり、校正の視点で生徒同士がお互いの作品を見ることで更なる学びの深まりも期待できたと思われる。</p> <p>ただし、パンフレット作成は学びの手段としては有効であったと考えるが、ポスティングでの宣伝が当日の寄付にはあまり結びついていなかったため、宣伝の手段としては効果の低さを感じた。寄付を多く集めることだけが活動の目的ではなかったため、ポスティングされたパンフレットを地域の方々が目にしてくれたであろうということもまた大事な活動の一環ではあるが、果たして本当に地域の方々がパンフレットの中身を読んでもらえたのかどうかは追跡調査のしようがなく、生徒の自己有用感へつなげにくかった。地域に密着した宣伝には今もなお回覧板、また SNS 世代には HP や Instagram などの活用が有効である。</p> <p>行事当日は、実施場所のによって人通りに差があった。1人の寄付者が複数の食品を持って来て下さったおかげで、集まった食品の量としては達成感を感じられたが、ブースへの来場者数としては予想以上に少なく、地域の方々と交流という観点では、ブースを設置する「地域」の細かい分析と場所選びが重要であったと感じる。</p>
14. 成果が出た点	<p>世界的な食糧をめぐる題はとてつもなく大きいですが、1次、2次の授業で日本でのフードロスや、自分自身の購買行動の振り返りを行ったことで、話題をぐっと身近に引き寄せることができた。課題意識を引き寄せられたことに加えて、「誰かのために何かをしたい、人の役に立ちたい」というこの学年の生徒の心理が上手くマッチし、行事前のポートフォリオでは「実際にフードドライブをやるのが楽しみだ」「当日に対して期待が高まる」というポジティブな感想がどのクラスにも見られた。</p> <p>「フードロスやフードバンク活動について学ぶ」→「お客さん（寄付者）に質問されてた時に答えられるように」、「パンフレットを作成する（配布する）」→「学んだことをたくさんの人に伝えるために」、「ブースを飾りつけする」→「楽しい雰囲気でお客さん（寄付者）の目を引くために」、など、1つ1つの活動に意味と責</p>

任を持たせ、フードドライブを成功させるというゴールを共有して進めることができた。

行事当日は、生徒の熱心な呼び込みも功を奏して、予想以上の食品寄付が集まった。全11カ所で寄付して頂いた食品の総量は、フードバンク長岡京さんが普段引き受けられている寄付の半年分の量にあたるお聞きした。また、お借りした会場が管理されている SNS 等でも事前に宣伝をして頂き、当日は地域版の yahoo!ニュースが活動取材して下さる等、フードバンク活動を地域に広めることが出来たと思う。●Yahoo!ニュース：<https://creators.yahoo.co.jp/iwatagenni/0100344264>

< 寄付して頂いた食品 (一部) >



15. 学びの軌跡  
(児童生徒

の反応、感想文、  
作文、ノートな  
ど)

< ポートフォリオの感想から >

★事前学習★

<p>第1回：日本のフードロス・世界のフードロス 日本は632万トンもフードロスをしてい るのに、世界に必要な食べ物 は320万トン!? 私たちが少しでも意識 すれば、減してもこの数字が変わるはず かんばりたい。 ポジティブ参加レベル [ 低 1・2・3・④・5 高 ]</p>	<p>第2回：フードバンクについて、知りたい!聞きたい! 1人でもフードロスのためにできることは たくさんあるなと思いました。フードロス対策 をたくさんの方の人数の人がやると効果は大きくなる から活動の認知度を上げることは大切だと思いま す。 ポジティブ参加レベル [ 低 1・2・3・④・5 高 ]</p>
<p>第3回：フードバンク長岡京さん講演会 実際には1から立ちあげた人の話を きけて良かったなと思いました。 07月もいっから、色々お話をやってみるという 勇気ももらえました。ありがとうございました。 ポジティブ参加レベル [ 低 1・2・3・4・⑤高 ]</p>	<p>第4回：宣伝パンフレットを作ろう パンフレットを作るにあたって、今まで自 分が学んできたことや講演会でとった メモを頭の中で整理しなおし、自分の ことばでまとめられてとてもゆめくし(高) ポジティブ参加レベル [ 低 1・2・3・4・⑤高 ]</p>
<p>第5回：流通フードロス 少しのアクションで大量のフードロスが生まれる ことにおどろいた。アクションの中には買う側が 原因のアクションもあったので、僕たちの意識も 変えたい ポジティブ参加レベル [ 低 1・2・3・4・⑤高 ]</p>	<p>第6回：責任をもって役割を引き受けよう(係決め) じゃんけんなどで決めて、 自分から選んだ係なので しっかり責任をこらして 3つと思った。 ポジティブ参加レベル [ 低 1・2・3・④・5 高 ]</p>
<p>第7回：宣伝活動とブース準備 宣伝活動組が頑張ってくれたので ブース準備組が頑張れた。 自分の役割を果たせてよかったと思う。 ポジティブ参加レベル [ 低 1・2・3・④・5 高 ]</p>	<p>第8回：係別ミーティング 自分の役割、検品係の行うこと について理解したので当日、記録係 受付係の間の橋わたしをするので 責任を持って取り組みたいと思います。 ポジティブ参加レベル [ 低 1・2・3・④・5 高 ]</p>

★当日の活動（ポートフォリオの感想）★

14人も来てくださいました。フードドライブという活動をやってみて、楽しかったことは人との関わりが深くなったことです。

お客さんが来てくれた時は、うれしかったです。達成感もあった！笑  
前半組でも人またけて、2人目が来たときうれしくて泣きそうになった。

でも一人お客さんが来てくれた時に本当にうれしくてホスティングした  
かいがあつたなと思いました。そしてその後たくさんお客さんが

私たちの説明を聞いて、フードドライブに興味を持って、くれたり、わざわざ家まで取りに帰ったりしてくれているのを見て、地域の温かさを実感することができました。

今回の活動を通して、多くの方にフードドライブについて知っていただくことができたと思います。

何としてやるかと聞いてくださる方も多く、Food driveを英語でやるの  
方々に知っていただけるような活動にできてよかったです。

「がんばってね」、「だれかの助けになりますように」ほど暖かい言葉を  
書いてくれる人が多くてやる気がでた。また、ちがよってくれる人達

この活動について関心を持ってくださっている人も多かったことで、もっと色々な人に  
フードドライブを知ってもらって、フードロス削減に繋がればと思います。

来て下さった時、とてもありがたく感じて、ボランティア活動の楽しいところはん  
だろうな、と思いました。それに、通りすがりの人も食品はなくても、興味を  
持て下さった方も多くいたのも良かったです。

★事後アンケート★

1. 強く思う

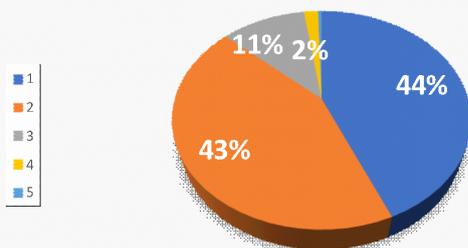
2.

3. どちらでもない

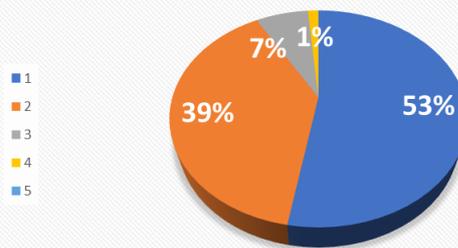
4.

5. 全く思わない

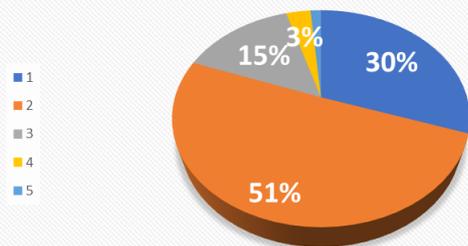
RFD2022の学習（行事）を通じて、  
フードロスを身近な問題だと思うようになった



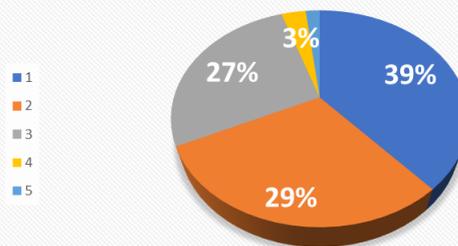
RFD2022の学習（行事）を  
クラスの仲間と協力して進めることができた



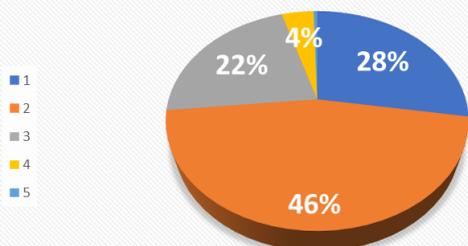
RFD2022の学習（行事）を実施することで、  
地域の人々に良い影響を与えられた



RFD2022の学習（行事）を  
後輩にも引き継ぎたい



RFDの学習（行事）を通じて、社会の問題に前向きに取り組もうという気持ちが以前より増した



★パンフレット（全員作成から抜粋）★

### 回収できる食品

- 常温保存できるもの
- 商品説明が日本語表記のもの
- 賞味期限まで1カ月以上あるもの
- 未開封で包装が破損していないもの

対象となる食品の例

- ★ 米・パスタ・乾麺・餅
- ★ インスタント食品・レトルト食品・缶詰
- ★ 油・しょうゆ・味噌・砂糖などの調味料
- ★ のり・お茶漬け・ふりかけ
- ★ 粉ミルク・ベビーフード
- ★ 災害用備蓄食品

### 回収できない食品

- 生鮮食品（生肉、魚介類、生野菜…）
- 冷蔵食品・冷凍食品
- 手作り品、お弁当、食べ残し
- 賞味期限の記載がないもの（砂糖、塩を除く）
- 商品説明が外国語表記のみのもの
- 開封されたもの
- 包装が破損し、食品が外気に触れてしまうもの
- 賞味期限が1か月未満のもの
- アルコール類（料理酒を除く）
- 治療用特殊食品

賞味期限が  
**2022年12月25日**以降の食品をお寄せ下さい

### Q. Food Driveとは？

A. 企業や家庭で消費しきれない食品を回収(寄付)する活動です。

→ 回収された食品はFood Bankに預けられ、様々な理由で食べ物を必要としている方々に無料で配布されます。

### Q. なぜFood Driveを？

A. フードロスの削減のため

→ 現在、日本の一年間のフードロスは約632万トンに及んでいます。これは、世界の一年間の食糧支援(約320万トン)の二倍の量になります。

つまり、お茶碗一杯分のお米を毎日捨てているということ。共に、年間19000円も無駄になっています。

### 回収された食品の行き先

- ・ 回収された食品はFood Bank長岡京さんなどに預けられ、様々な理由で食べ物を必要としている方や施設に無料で配布されます。(子ども食堂、介護施設、母子会など)
- ・ 家庭から出るフードロスは、約291万トンと言われています。まだ食べられるのに捨ててしまうのならFood Drive、Food Bankを通して支援してみませんか？

### Food Driveと環境

- ・ 廃棄されたフードロスは、ごみ焼却により処理されます。この焼却により、CO2が発生し、環境面においても地球に悪影響を及ぼしています。

Food Driveの活動は、フードロスの削減であると同時に、ごみ焼却によるCO2を削減できる環境にも優しい活動です。

### 最後に

立命館中学校2年生が精一杯取り組んでいますのでご協力よろしくお願いします

[No. 2632]

### 回収できる食品

- 常温保存できるもの
- 商品説明が日本語表記のもの
- 賞味期限まで1カ月以上あるもの
- 未開封で包装が破損していないもの

対象となる食品の例

- ★ 米・パスタ・乾麺・餅
- ★ インスタント食品・レトルト食品・缶詰
- ★ 油・しょうゆ・味噌・砂糖などの調味料
- ★ のり・お茶漬け・ふりかけ
- ★ 粉ミルク・ベビーフード
- ★ 災害用備蓄食品

### 回収できない食品

- 生鮮食品（生肉、魚介類、生野菜…）
- 冷蔵食品・冷凍食品
- 手作り品、お弁当、食べ残し
- 賞味期限の記載がないもの（砂糖、塩を除く）
- 商品説明が外国語表記のみのもの
- 開封されたもの
- 包装が破損し、食品が外気に触れてしまうもの
- 賞味期限が1か月未満のもの
- アルコール類（料理酒を除く）
- 治療用特殊食品

賞味期限が  
**2022年12月25日**以降の食品をお寄せ下さい

### フードドライブを知っていますか？

日本にはどのくらいのフードロスが出ている？  
→ 日本では、年間約632万トンのフードロスが出ています。それは日本人一人あたりが、一年に白ご飯一杯を毎日捨てており、一人あたり約19000円を無駄にしているという計算になるのです。そのうち、家庭から生まれるフードロスの量は年間約291万トンです。これは全体の約2分の1にあたります。

日本にはどのくらい貧困者がいるのか？  
→ 日本はOECDである38か国の平均と比べて「相対貧困率」が高いです。「相対貧困率」とは、国民全体の所得の中央値に対して半分未満の所得の世帯人数の割合を示す数値です。2016年の厚生労働省の調査では、貧困世帯で暮らす17歳以下の子どもは全国で280万人を超え、子どもの7人に1人の割合となっています。

### そこで…

#### 立命館中学校2年生でフードドライブを実施します!!

フードドライブとは？  
→ フードドライブとは、家庭で余っている食べ物を集め、それをまとめて、地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付をする活動です。ご家庭にあるフードロスになってしまっている品々に問題のない食品を早めにフードドライブに提供することによって、フードロスの削減を促進しています。

集まった食品はどこへ？  
→ 集まった食品は、生活困窮世帯や福祉施設、炊き出しなどに、無償で提供されています。

回収したものに問題があった場合、責任を取るの？  
→ そういったことは本当に稀ですが、まず賞味期限が切れているものは回収されないの、異物が混入していた場合は会社側の責任になるので、心配しなくても大丈夫です。

フードロスは環境問題にも関わっています。生ごみは約90%は水分のため、ごみを燃焼するには、多大なエネルギーとコストがかかります。自分で買ったものは自分で責任を持って処理をする、無駄を減らす、という目的はSDGsと繋がります。

立命館中学校2年生でフードドライブを行います。皆さんの力で何か変わるかも知れません。ご協力をお願い致します。

[No. 2832]

<p>16. 授業者による自由記述</p>	<p>この単元(行事)の運営を通じて、自分自身も人や地域とのつながりを感じることができた。「地域に開かれた学校」づくりでは、地域の教育資源を借りる(あるいは頂戴する)だけではなく、生徒の学びを地域へ還元するという視点もまた大切であると思った。今回は、地域のフードバンクに事前学習にお力添えを頂き、食品の寄付をお返しすることができた。行事後は、この単元学習に興味を持って下さった市の社会福祉協議会の方からご提案頂き、フードバンク長岡京のパフレットのリニューアルに本校の生徒が携わらせて頂けることになった。こうして、地域と学校がお互いに持てる力を貸し借りする関係が続いて欲しいと思う。</p> <p>地球規模で起こっている問題はたくさんある。しかし、同じ問題が自分の身近な地域でも起こっており、また解決の糸口も身近な地域にある。もちろん、私が世界へ出向いて問題がより表面化して深刻化しているその場面に対処することも必要であるが、私が教員として持続的にできることはやはり子どもを育てることである。地球規模で起こっている問題を生徒に分かりやすく提示し、問題意識を喚起し、「今、中高生が出来ること」を共に考え、少しでも行動を起こしてみることだと思う。こうした経験をくり返すことによって、将来、社会から課題を発見したり、見つけた課題に立ち向かう資質・能力を持つ子どもを育てたい。</p> <p>単元計画を書くだけではなく実際にやってみることで、課題や改善点が発見され、また、この単元学習を終えた生徒が次に学ぶべき事は何か…などを新たに考えるようになった。他の方の過去の実践から学ぶことも多く、自分自身の成長につながったと感じている。</p>

参考資料：

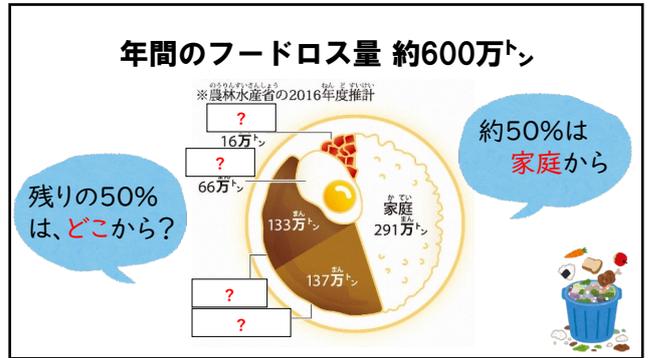
JICA ひろば SDGs 動画シリーズ//ゴール 2//飢餓をゼロに URL: <https://www.youtube.com/watch?v=ogKaa2TbpBY>

環境省 フードドライブ実施の手引き URL: <https://www.env.go.jp/recycle/foodloss/pdf/fooddrive.pdf>

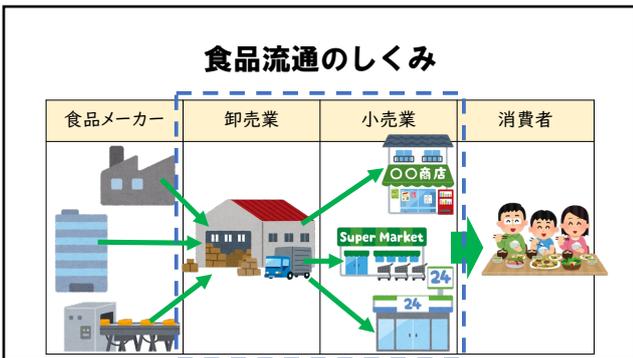
「減らせ！流通フードロス」ゲームキット URL: <https://ameblo.jp/damedame-foodloss0628/entry-12754234024.html>



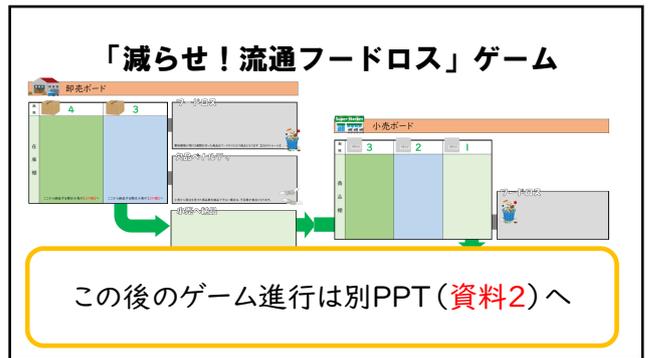
1



2



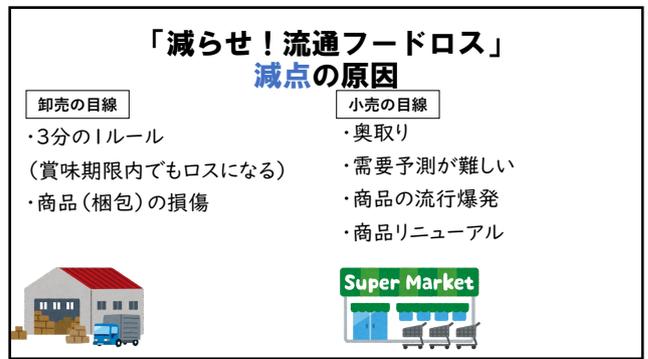
3



4



5



6

「減らせ！流通フードロス」  
減点の原因になった消費者の行動



7

「減らせ！流通フードロス」  
減点の原因になった消費者の行動

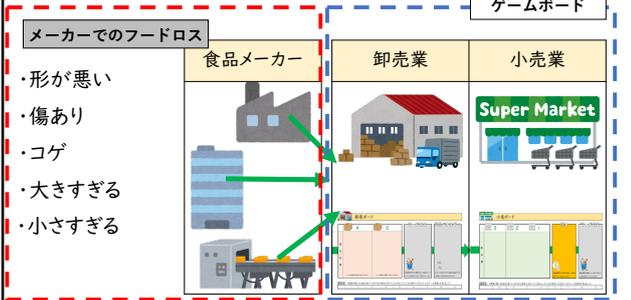


- ・奥取り
- ・商品の流行爆発(SNSの影響)
- ・全く商品を買わない(需要0)  
(需要&との差が激)

思い当たる行動はあるかな？

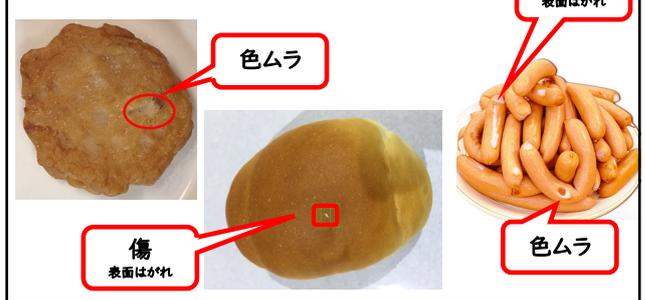
8

「減らせ！流通フードロス」



9

訳あり商品の例



10

訳あり商品の例



11

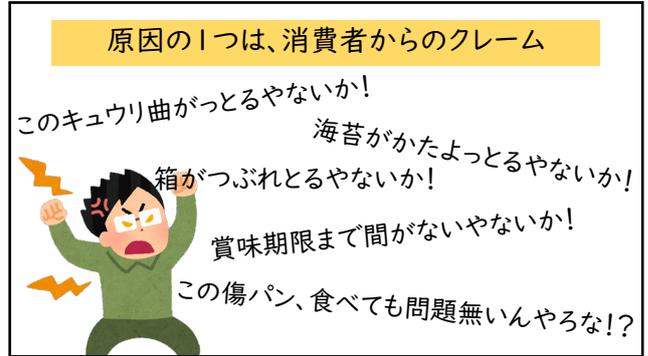
訳あり商品の例



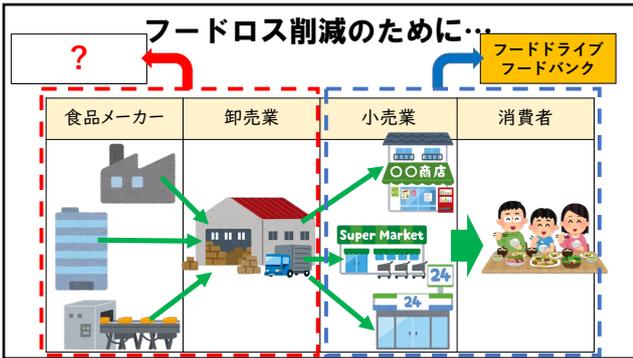
12



13



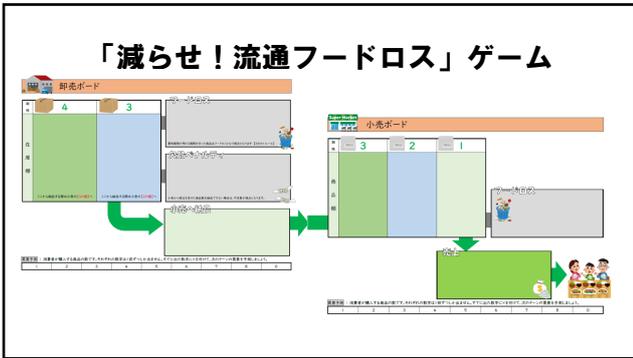
14



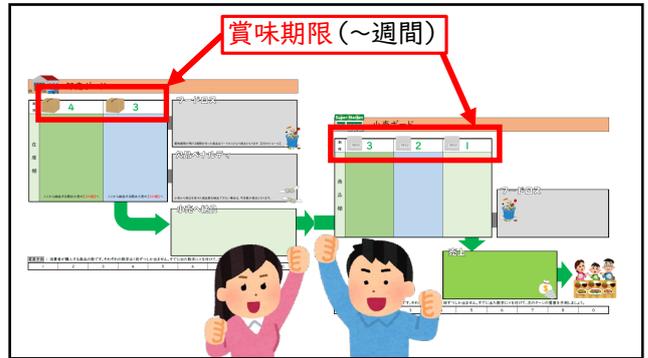
15

将来的に、フードロスを生み出さないために  
変えるべき**社会のしくみ** や **私たちの意識**

16



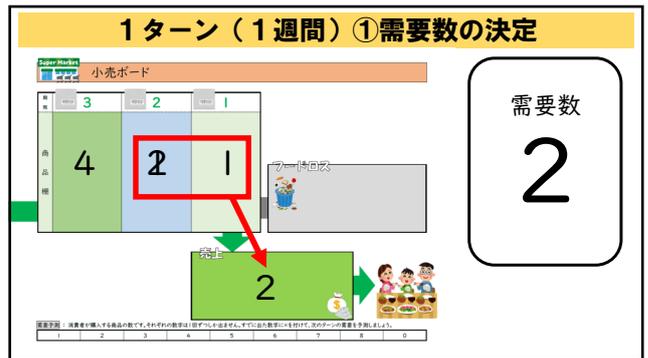
1



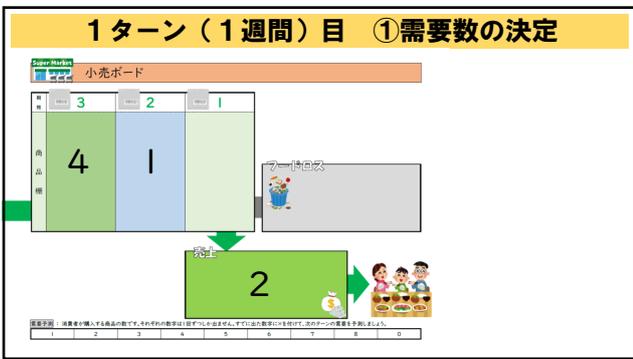
2



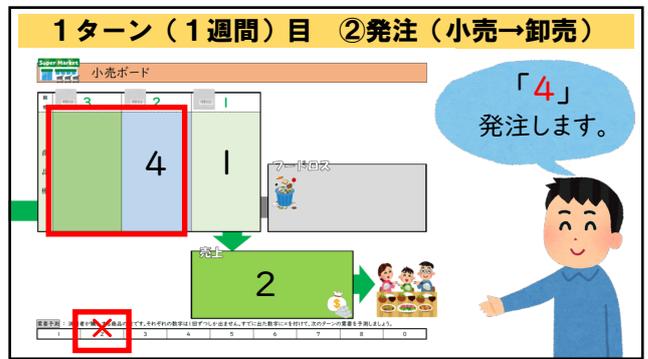
3



4



5



6

**1ターン（1週間）目 ③納品**

2の棚に「2」  
3の棚に「2」  
納品します。

7

**1ターン（1週間）目 ③納品**

2の棚に「2」  
3の棚に「2」  
です。

8

**③納品 - 在庫不足の場合**

「5」  
しか、無いです。

「8」

9

**1ターン（1週間）目 ④在庫補充**

心の声  
「10」  
在庫補充しよう…。

10

これで1ターン(1週間)目が終了です。  
**残り8ターン**をくり返します。

すべてのターンが終了した後、  
**売上(小売) - (小売フードロス + 卸売フードロス + 卸売ペナルティ)**  
が、チームの得点となります。

2ターン目から、**偶数ターン**では  
**アクシデントが発生**しますので、  
スライドの指示に従って下さい。

11

これ以降は  
すべてのターンが終了するまで  
お互いに在庫がいくつあるか、  
賞味期限が迫っているのか(いないのか)  
など、  
**自分のボードの情報を話してはいけません。**

需要予測や相手からの発注数の動向を見て、予想しましょう

12

**2ターン（2週間）目**

需要数	小売アクセシデント
<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; width: 60px; height: 60px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <span style="font-size: 2em; color: red;">7</span> </div>	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 10px; width: 80%; margin: 0 auto;"> <p style="text-align: center;">スーパーで 特売！ 需要が+3！</p> </div>

13

**小売ボード**

需要数を売上に入れたあと、賞味期限1週間のボックスに在庫が残ってしまった場合は、**フードロス**となります（右へ移動させる）

では、引き続き  
**②発注（小売→卸売） ③納品（卸売→小売） ④在庫補充（売上）**  
 を行って下さい。

14

なぜ、また賞味期限が3週間もあるのに**ロス**になるのでしょうか？

納品したあと、賞味期限3週間のボックスに在庫が残ってしまった場合は、**フードロス**となります（右へ移動させる）

15

**【3分の1ルール】**

食品は、賞味期限の3分の1が過ぎるまでに小売に納品しなければならぬという流通のルールがあります。  
※このゲームのルールではなく、日本国内で運用されている実際のルールです。

例えば、賞味期限が6カ月の商品は、2か月以内に卸売から小売に納品されなければ、**フードロス**となります。

▲ 納品期限

16

**3ターン（3週間）目**

需要数	アクセシデント
<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; width: 60px; height: 60px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <span style="font-size: 2em;">6</span> </div>	<div style="border: 1px solid gray; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 0; right: 0; border-bottom: 1px solid gray; border-right: 1px solid gray; width: 50%; height: 50%;"></div> </div>

17

**4ターン（4週間）目**

需要数	卸売アクセシデント
<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; width: 60px; height: 60px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <span style="font-size: 2em;">3</span> </div>	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 10px; width: 80%; margin: 0 auto;"> <p style="text-align: center;">製造が間に合わず欠品 発注数-3！</p> </div>

18

卸売ボード

今、補充した在庫数を -3 して下さい。

4	3	2
8		2
		6
		6

19

5ターン（5週間）目

需要数	アクシデント
7	

20

6ターン（6週間）目

需要数	小売アクシデント
1	<p>鮮度を 気にして 商品を 奥からとる</p>

21

小売ボード

賞味期限が最も長い商品を売上に入れて下さい。

3	2	1
3	3	6
		5
		1
		8

22

小売ボード

商品を右へ1列ずつずらし、卸売に発注して下さい。

3	2	1
3	3	6
		5
		9

23

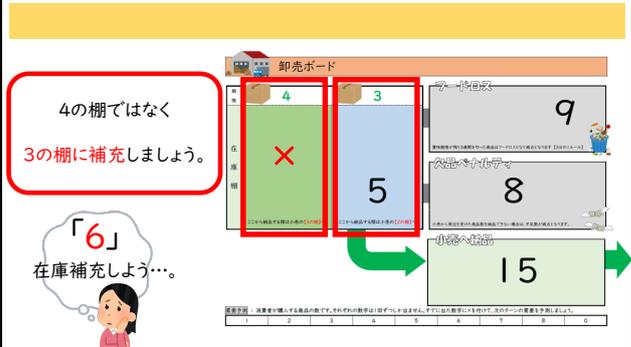
7ターン（7週間）目

需要数	アクシデント
0	

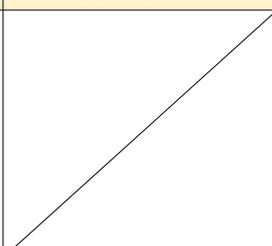
24

8ターン（8週間）目	
需要数	卸売アクセシデント
5	ドライバー不足で 卸売に商品が 届かない 発注が 1週間遅れる 

25



26

9ターン（9週間）目	
需要数	アクセシデント
8	

27

### 合計得点計算

$25 - (7 + 7 + 8)$

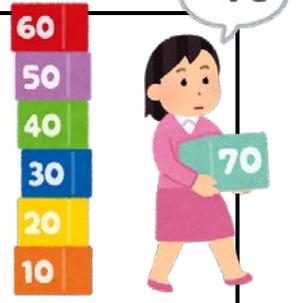
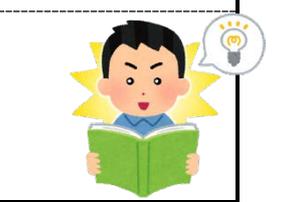
小売ロス 7    卸売ロス 7    卸売ペナルティ 8



28

① 「減らせ!流通フードロス」ゲームを終えて…

● 自分の役割 [ 卸売 ・ 小売 ]

<p>減点の原因 (プラスの得点にするのが難しかった点)</p>	
<p>減点の原因になった消費者の行動 (主に、アクシデントカードから)</p>	
<p>その他、気づいたこと</p>	

② 将来的にフードロスを生み出さないために、変えるべき社会のしくみや私たちの意識

<p>変えるべき社会のしくみ</p>	
<p>変わるべき私たちの意識</p>	
<p>その他、気づいたこと</p>	